

わいわい通信

亭わいわい孫子我 幕に歴史の22年

平成十一年一月十八日夕五時半、第一回我孫子わいわい亭の幕が開きました。

当時のネタ帳によると、この日の番組は、

開口一番 楽志郎（現楽京）

半分垢 福楽（現円福）

手紙無筆 好円（現円馬）

垂乳根 金太郎

中入り

粗忽長屋 小太郎（現左龍）

チャリテイーオークション

かつぼれ 櫻川梅蔵

蒟蒻問答 とん楽

というものでした。

正確な人数は記録に残っていませんが、百人近くいたのではないかと思います。

当時、まだ前座だった神楽さんは、わいわい亭のレギュラー前座にしてくれ、と頭を下げてくださいました。

以来、柏、我孫子、野田のわいわい亭で前座修行をしました。そんな神楽さんが二ツ目になった時、金太郎さんがつくづくと言いました。

『初めのうちは暗くてどうなるかと思っただけ、やっぱり場数だね、すっかり明るくなったよ。』

確かに場数、経験は大事ですが、神楽が高座から下りる度に、金太郎さんが「ここはこうした方がいい、あそこはこうした方がいい」と指導してくれたこと

の方が大きいと思います。

金太郎さんは、神楽の育ての親のようなものです。

もう一人、昨年亡くなった小円朝もそうでした。

「こっかん飛切り落語会」で奨励賞を取った時のネタは『天狗裁き』。

わいわい亭の楽屋で神楽さんと二人で教わりました。

小円朝はこの受賞をきっかけに「一皮剥けた」と評判になったものです。

芸術協会の笑松（現小柳）、花助（現小助八）、喜太郎（現桃之助）を連れて来たのも金太郎さんでした。今日の高座を見て下さい。

◎速報 金太郎を偲ぶ会

だいたい先の話になりますが、桂小南一門による、仮称「金太郎を偲ぶ会」が鈴木屋さんで開催されることになりました。

来年の三月十四日の土曜日、十一時開演で、お弁当付き三千円、八十人限定です。

出演予定は、桂南なん（一門惣領、くま八の現師匠）、三代目桂小南、山遊亭くま八、桂南太郎、桂南之助です。

チラシが出来上がってあれば、十五日の我孫子と十八日の野田で配ります。

問い合わせ、予約は、
〇九〇・三一〇二・八〇七〇
みやま まま

第貳百六十八号
令和元年十二月十五日
編集人・三遊亭とん楽

◎年会員募集中

わいわい亭では、寄席の維持のために、会費一万円で年会員を募集しています。

●わいわい亭年会員特典
・会員カードの発行（貸借可）
・一年間、我孫子、野田、双方の寄席「わいわい亭」にカード持参のお一人フリーパス

・「わいわい通信」の送付
・「両国寄席」番組表送付
・その他随時にあり

お申込はわいわい亭受付でどうぞ
*野田わいわい亭の会場募集

会場月替わりというシステムが特色の野田わいわい亭ですが、会場を提供してくれるところを広く募集しています。

・会場費が発生しないこと
・楽屋が設けられること
・オープンスペースでないこと

・特定の人だけの空間でないこと
などが主な条件です。

詳しくは、寄席会場で世話人にお尋ね下さい。

わいわい亭出演者の出前
わいわい亭という形ではなく、買取公演という出前も致します。

出前料金は、出演者の顔ぶれと人数によって異なりますので、「いくら」という漠然とした質問には答えられません。日時、全体の時間、予算をお知らせ下さい。

法事・宴会

鈴木屋

初詣・七五三・婚礼

櫻木神社

野田市桜台二一〇

水明荘

野田市瀬戸八三五―一

住宅 水回りの

リフォームは

浅野さく泉管工

野田市横内

第二百三十回（最終回） 我孫子わいわい亭番組
山遊亭金太郎追悼公演 記念品あり

十二月十五日（日） 五時半開演

飲食物の持込はお断りします

開口一番 南太郎

「天狗裁き」 神楽

「河豚鍋」 桃之助

「文違い」 愛楽

中入り

「目薬」 とん楽

「徂徠豆腐」 小柳

お別れ

金太郎

第二百四十一回野田わいわい亭

極月十八日 水明荘

弁当酒類販売あり

演 三遊亭とん楽
三遊亭神楽
出 昔々亭桃之助
三遊亭鯛好

正月十五日 久田家
二月十九日

金太郎 <http://e-warai.com/> とん楽 <http://www.maroon.dti.ne.jp/tonraku/>
神楽 <http://www.geocities.co.jp/Hollywood-Stage/6622/>

◎金太郎さんと私

前号からの続きです。

かくして、平成九年の秋のある日、金太郎、とん楽、みやまといふ顔ぶれで鈴木屋さんを訪れて打ち合わせをしました。

まず開催日です。

日曜の夜は宴会が少ないということ、第三日曜日。帰りが遅くならないようにということ、五時半開演となりました。

一番悩んだのはお弁当です。

入場料より高いのはちよっと、ということ、千円が妥当だとなりました。

しかし、鈴木屋さんが、その価格だとぎりぎり、ロスが出る赤字になっちゃうというのです。

そこで金太郎さんが、ロスがないように、入場時に申し込んで、中入りで食べる、ということにしたらどう、と案を出して、そうしようとなりました。

他に、六十五歳以上は無料とし、一月から始めることも決まり、会場使用料も決めました。

明けて平成十年一月十八日、第一回我孫子わいわい亭の幕が開きました。

その年の六月、金太郎さんが「ポケモンジェット」のデザインに息子の絵が採用されちゃったよ」と喜んでいました。

表彰式のため学校を休まねばならず先生に電話したところ、が、まったく信用してもらえず「全日空の担当者から学校に連絡してもらってやっと信用してもらった」校長は自分じゃ何にもしてないのに、自分の手柄のように吹聴してるとも言っていました。

告別式の時に祭壇に飾ってあったのは、その時にもらった記念の模型です。

そしてこれは平成十三年のことです。

八月に私が舞台の「サクラ大戦 歌謡シヨウ 海神別荘」に出演することになり、チラシを金太郎さんに渡しました。

すると子供たちがこのチラシをみつけて「今年の夏休みは、他のどこへ行かなくてもいい、これだけでいいから行きたい」と思ってた、お父さん知ってたの？」「違うよ、ほら、とんちゃんが出てるんだよ」「すごい、お父さんサクラ大戦に出る人と友達なんだ」。

後日、「オレ、かくかくしかじかで、とんちゃんのおかげで子供達に尊敬されちゃったよ。だって、ちなみに、金太郎さんの娘さんが高校で演劇部に所属していたので、この時の台本は、記念にプレゼントしました。

ところで、今月の我孫子わいわい亭は、金太郎さんの追悼公演として、出演者が金太郎さんとゆかりのあるネタを選びました。

字数制限もありますので、どんなゆかりかは、各人が高座で説明することに致します。

結びに、二十二年間、足を運んで下さった皆様、会場とおいしいお弁当を提供してくれた鈴木屋さん、席亭のみやまさん、そして、少ない予算で協力してくれた全体的出演者の皆さん、ありがとうございました。

◎笑点カレンダー販売

日本テレビの人気番組『笑点』でお馴染みの「笑点カレンダー」を今年も販売致します。

消費税が上がった影響で、テレビでは一本千八百円に値上がりしましたが、わいわい亭のお客様に限り、特別に価格据え置きの一本科五百円で販売致します。

手話のできる先生

山田齒科

柏市柏三丁目

コーヒーと自家製カレー

カルデュー

柏市柏四一八一—金子ビル

木間ヶ瀬

めん処

とみや

喫茶

コンパル

ファミリかしわ2F